



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月26日

上場会社名 株式会社森精機製作所
コード番号 6141 URL <http://www.moriseiki.co.jp>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 森 雅彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長経理財務本部長 (氏名) 近藤 達生

TEL 052-587-1811(代)

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

平成22年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	46,590	49.9	△5,740	—	△6,305	—	△6,108	—
22年3月期第2四半期	31,090	△66.8	△14,656	—	△14,885	—	△15,744	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△55.24	—
22年3月期第2四半期	△177.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	144,581	89,885	60.4	789.84
22年3月期	144,166	98,717	66.8	870.57

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 87,341百万円 22年3月期 96,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
23年3月期	—	10.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	73.2	1,000	—	1,000	—	1,000	—	9.04

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 118,475,312株 22年3月期 118,475,312株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 7,893,298株 22年3月期 7,892,985株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 110,582,229株 22年3月期2Q 88,572,151株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、【添付資料】P. 2「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期(平成22年4月1日から9月30日)の工作機械業界は、日本工作機械工業会の発表する工作機械受注額が昨年12月から前年同月比増を継続するなど、引き続き受注環境は改善しております。円高の長期化に懸念は残るものの、当社グループの受注活動においても、今後も更なる受注拡大が十分期待できるものと考えております。

このような経営環境下において当社グループでは、9月に時代の要求に応える新シリーズとして、CNC旋盤・立形マシニングセンタ・横形マシニングセンタ・複合加工機それぞれに、「Xクラス」を発表いたしました。「Xクラス」は、現在の市場ニーズを反映し、既存製品を多角的に分析することで、機械剛性や省エネ対応、安全規格などにおいて高いレベルで製品化を実現しており、お客様の多様なニーズを強力にサポートしてまいります。

業務及び資本提携を締結している独国GILDEMEISTER AG(以下、ギルデマイスター)との協業体制構築の一環として、コストパフォーマンスに優れたギルデマイスター社製のCNC5軸制御マシニングセンタ「DMU 50 eco」の日本国内での受注を8月に開始致しました。また、米国で9月に開催された国際製造技術展(IMTS)では、「Xクラス」を含む39機種をギルデマイスターと共同で出展し、多くのお客様にご来場いただき目標を上回る受注を頂きました。

このような状況のもとで、当第2四半期における連結売上高は46,590百万円(前年同四半期比49.9%増加)となり連結営業損失は5,740百万円(前年同四半期は14,656百万円の連結営業損失)、為替差損などの要因により連結経常損失は6,305百万円(前年同四半期は14,885百万円の連結経常損失)、また、連結四半期純損失は6,108百万円(前年同四半期は15,744百万円の連結四半期純損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は144,581百万円となり、前連結会計年度末比414百万円の増加となりました。その主な要因といたしましては、現金及び預金が1,761百万円、有形固定資産が2,048百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が3,696百万円、たな卸資産が770百万円、それぞれ増加したことがあげられます。なお、純資産は89,885百万円となり、自己資本比率は60.4%と当第2四半期において6.4ポイント減少しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は5,750百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,505百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は8,391百万円の支出となりました。主なプラス要因は、減価償却費3,206百万円、仕入債務の増加2,682百万円であり、主なマイナス要因は、税金等調整前四半期純損失6,677百万円、売上債権の増加4,523百万円、たな卸資産の増加2,819百万円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は1,187百万円の支出となりました。主なプラス要因は、有形固定資産の売却による収入617百万円であり、主なマイナス要因は、有形固定資産の取得による支出1,108百万円、関係会社出資金の払込による支出586百万円、投資有価証券の取得による支出305百万円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は7,871百万円の収入となりました。主なプラス要因は、短期借入金の純増加額9,122百万円であり、主なマイナス要因は、配当金の支払額1,103百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

工作機械の受注環境に改善が見られることから、平成22年5月10日に公表しました通期連結業績予想から、通期連結売上高を115,000百万円に上方修正しております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業損益、経常損益及び税金等調整前四半期純損益に与える影響は軽微であります。

表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失()」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,754	7,516
受取手形及び売掛金	20,362	16,665
有価証券	101	-
商品及び製品	10,995	10,067
仕掛品	5,412	6,241
原材料及び貯蔵品	17,423	16,751
繰延税金資産	744	533
未収消費税等	268	310
その他	5,904	4,761
貸倒引当金	192	114
流動資産合計	66,774	62,733
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,282	26,926
機械装置及び運搬具(純額)	4,760	4,301
土地	18,391	17,152
リース資産(純額)	3,908	4,354
建設仮勘定	329	1,722
その他(純額)	2,935	3,199
有形固定資産合計	55,608	57,657
無形固定資産		
のれん	1,741	2,024
その他	5,243	5,733
無形固定資産合計	6,984	7,757
投資その他の資産		
投資有価証券	11,703	12,966
長期前払費用	106	165
繰延税金資産	1,760	1,569
その他	1,642	1,317
投資その他の資産合計	15,213	16,018
固定資産合計	77,807	81,433
資産合計	144,581	144,166

(単位: 百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,501	6,087
短期借入金	27,672	18,550
リース債務	261	270
未払金	3,265	4,116
未払費用	1,748	1,780
前受金	1,291	925
未払法人税等	416	741
未払消費税等	21	4
繰延税金負債	35	35
製品保証引当金	758	845
賞与引当金	148	234
その他	665	1,390
流動負債合計	44,787	34,983
固定負債		
新株予約権付社債	2,583	2,583
リース債務	3,832	4,241
繰延税金負債	1,122	1,227
再評価に係る繰延税金負債	1,699	1,699
退職給付引当金	318	312
長期未払金	289	402
資産除去債務	61	-
その他	2	-
固定負債合計	9,908	10,465
負債合計	54,695	45,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,132	41,132
資本剰余金	53,863	53,863
利益剰余金	5,599	12,820
自己株式	10,544	10,544
株主資本合計	90,050	97,271
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	852	1,750
繰延ヘッジ損益	1,060	943
土地再評価差額金	1,545	1,545
為替換算調整勘定	6,166	5,242
評価・換算差額等合計	2,709	1,002
新株予約権	1,784	1,533
少数株主持分	759	914
純資産合計	89,885	98,717
負債純資産合計	144,581	144,166

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	31,090	46,590
売上原価	26,537	33,652
売上総利益	4,552	12,938
販売費及び一般管理費	19,209	18,678
営業損失()	14,656	5,740
営業外収益		
受取利息	15	20
受取配当金	99	117
法人税等還付加算金	93	-
その他	160	123
営業外収益合計	368	261
営業外費用		
支払利息	121	218
為替差損	155	207
支払手数料	58	51
持分法による投資損失	110	122
その他	150	227
営業外費用合計	596	826
経常損失()	14,885	6,305
特別利益		
固定資産売却益	16	7
特別利益合計	16	7
特別損失		
固定資産売却損	4	20
固定資産除却損	57	19
減損損失	4	-
投資有価証券評価損	32	68
その他の投資評価損	4	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	15
事業構造改革費用	-	251
特別損失合計	103	379
税金等調整前四半期純損失()	14,972	6,677
法人税、住民税及び事業税	117	85
法人税等調整額	1,073	384
法人税等合計	1,190	299
少数株主損益調整前四半期純損失()	-	6,377
少数株主損失()	417	268
四半期純損失()	15,744	6,108

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	14,972	6,677
減価償却費	3,537	3,206
固定資産売却損益(は益)	12	13
固定資産除却損	57	19
減損損失	4	-
投資有価証券評価損益(は益)	32	68
事業構造改革費用	-	251
のれん償却額	175	265
株式報酬費用	327	250
持分法による投資損益(は益)	110	122
賞与引当金の増減額(は減少)	-	85
投資その他の資産評価損	4	3
役員賞与引当金の増減額(は減少)	25	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	2	85
退職給付引当金の増減額(は減少)	130	16
製品保証引当金の増減額(は減少)	96	86
受取利息及び受取配当金	114	138
支払利息	121	218
為替差損益(は益)	343	819
売上債権の増減額(は増加)	5,531	4,523
たな卸資産の増減額(は増加)	5,099	2,819
仕入債務の増減額(は減少)	477	2,682
未収消費税等の増減額(は増加)	189	42
未払消費税等の増減額(は減少)	64	16
未払金の増減額(は減少)	1,687	572
その他	174	301
小計	1,987	7,121
利息及び配当金の受取額	115	139
利息の支払額	116	218
事業構造改革費用の支払額	-	833
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	2,041	357
営業活動によるキャッシュ・フロー	53	8,391

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(は増加)	190	251
投資有価証券の取得による支出	2,518	305
関係会社株式の取得による支出	-	10
関係会社出資金の払込による支出	-	586
有形固定資産の売却による収入	44	617
有形固定資産の取得による支出	3,395	1,108
無形固定資産の取得による支出	1,950	269
その他	15	223
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,996	1,187
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	3,402	9,122
自己株式の処分による収入	32	0
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	1,766	1,103
少数株主への配当金の支払額	21	0
その他	62	146
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,583	7,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	61	58
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	6,420	1,765
現金及び現金同等物の期首残高	14,255	7,255
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	457	260
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,292	5,750

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	12,267	7,820	10,102	900	31,090	-	31,090
(2) セグメント間の 内部売上高	10,836	1,049	557	309	12,752	(12,752)	-
計	23,103	8,869	10,660	1,209	43,842	(12,752)	31,090
営業利益又は 営業損失()	12,750	199	2,501	515	15,568	911	14,656

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	米州	欧州	アジア・オセアニア	計
海外売上高(百万円)	8,644	10,103	3,968	22,715
連結売上高(百万円)				31,090
連結売上高に占める海外 売上高の割合(%)	27.8	32.5	12.8	73.1

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会・執行役員会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に工作機械等を生産・販売しており、国内においては当社及び連結子会社が、海外においては各地域をそれぞれ独立した現地法人が担当しており、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米州」、「欧州」及び「中国・アジア」の4つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

	報告セグメント				
	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	中国・アジア (百万円)	計 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	17,806	10,551	9,517	8,714	46,590
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,973	1,023	539	649	25,186
計	40,780	11,575	10,056	9,364	71,777
セグメント損失()	4,064	600	999	69	5,734

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	5,734
未実現利益の消去	5
四半期連結損益計算書の営業損失()	5,740

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。